

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立御園中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・3学年においては漢字の読み・書きの分野で、日々の授業での積み重ねが成果として表れている。2学年においては、話す・聞く領域において、正答率が高く、日々の授業での話し合い活動の成果が現れた。

(2) 課題

- ・自分の考えが伝わるように、構成や展開を工夫して書くことについて、苦手意識をもつ生徒が多く見受けられる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	基礎、活用共に目標値を下回っている。		
第2学年	基礎については目標値と同等、活用については目標値を上回った。	基礎、活用共に目標値とほとんど差がない。	
第3学年	基礎については目標値を上回り、活用については目標値をやや下回った。	基礎は目標値を上回ることができ、活用については目標値を下回った。	基礎は目標値を上回ることができ、活用については目標値を下回った。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読みに関しては目標値を上回る結果となった。漢字の書き、文法・語句に関する事項については苦手としている生徒が多い。	文章読解については説明的な文章・文学的な文章共に目標値を上回っている。 自分の考えを文章にして表現することに課題がある。	全体を通して記述式の問題を苦手としている傾向がある。授業内では課題に対して、早い段階で諦めてしまい、粘り強く取り組むことのできない生徒が多く見受けられる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字は読み・書き共に目標値を下回った。文法の事項については目標値と同等かやや上回る結果となったが、歴史的仮名遣いの事項については目標値を大きく下回った。	多くの領域において、目標値と同等かやや上回る結果となった。説明的な文章の読解については目標値を下回り、課題が見られた。	積極的に発言しようとする態度がある。授業内での記述問題に対しては抵抗が高い傾向がある。説明的文章については特にその傾向が高い

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読みに関しては目標値と同等、書きに関しては大幅に上回った。文法に関しても、目標値を上回った。	多くの領域において、目標値と同等か上回る結果となった。文章を書く領域においては目標値を下回った。	積極的に発言しようとする態度がある。授業内での記述問題に対しては抵抗が高い傾向がある。説明的文章については特にその傾向が高い

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
毎時間の授業で短時間の漢字の学習を取り入れる。また、成果を確認するための小テストを適宜行う。文法の事項については、授業内での復習と問題演習に繰り返し取り組ませ、既習の事項を定着させる。	自分の伝えたいことを筋道を立てて文章で表現できるよう、短い文章を書くことから段階的に指導を行う。適宜添削をし、個に応じた書く力を身に付けさせる。	生徒がスモールステップで諦めずに学習に取り組めるよう、ワークシートを工夫する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章を書く際に、正しい漢字を使うことを意識させ、普段から漢字を使い慣れさせる。また、古典の授業に音読を多く取り入れることで、歴史的仮名遣いを自然と身に付けさせる。	説明的な文章において、段落の役割に着目し、必要に応じて文章の要約を行い、文章の大まかな内容を捉えられる力を付けさせる。	いろいろな文章を読ませ情報を整理して文章にまとめさせたり、そこから考えたことをスピーチさせたりする学習を繰り返し行っていく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字・文法の基礎・基本は身に付いている生徒が多いので、継続して問題演習に取り組み、知識を定着させる。また、文章の中で積極的に使うことを意識させる。	文章の構成を意識して、自分の伝えたいことが読み手に伝わるような文章を心がけ、作文の指導を積極的に取り入れる。	いろいろな文章を読ませ短作文を書かせる。その際、生徒の習熟度に応じて、容易な条件から難解な条件へと段階的に取り組ませる。